



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月5日

上場会社名 ZACROS株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7917 URL <https://www.zacros.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下田 拓
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 佐藤 道彦 TEL 03-5804-4221
 管理部門統括
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	119,698	5.6	8,922	6.6	9,995	16.4	6,513	22.9
2025年3月期第3四半期	113,387	11.4	8,369	31.2	8,586	23.3	5,299	68.2

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 6,600百万円 (0.2%) 2025年3月期第3四半期 6,584百万円 (22.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	89.34	88.50
2025年3月期第3四半期	71.23	70.57

(注) 当社は、2025年9月30日を基準日、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。上記の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	156,885	102,125	59.5	1,296.67
2025年3月期	153,926	100,695	59.5	1,237.83

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 93,297百万円 2025年3月期 91,650百万円

(注) 当社は、2025年9月30日を基準日、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。上記の1株当たり純資産につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	63.00	—	67.00	130.00
2026年3月期	—	72.00	—		
2026年3月期（予想）				18.00	—

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2 当社は、2025年9月30日を基準日、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。上記の2026年3月期（予想）の1株当たり期末配当金は株式分割考慮後の金額を記載しています。2026年3月期（予想）の1株当たり年間配当金合計は、株式分割の実施により、第2四半期末配当金と期末配当金との単純合算ができないため記載していません。なお、株式分割を考慮しない場合の2026年3月期（予想）の1株当たり期末配当金は72.00円、年間配当金合計は144.00円となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	158,000	4.8	10,800	6.8	12,100	16.7	7,500	14.8	103.28

（注）1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2 当社は、2025年9月30日を基準日、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。上記の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割が2026年3月期の期首に行われたと仮定して算定しております。当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、413.13円となります。

3 2026年3月期の1株当たり当期純利益は、2026年1月末までに取得した自己株式を含んで算定しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 （社名）賽諾世精密材料（無錫）有限公司

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	77,071,040株	2025年3月期	77,071,040株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	5,119,348株	2025年3月期	3,029,248株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	72,905,590株	2025年3月期3Q	74,394,332株

（注）当社は、2025年9月30日を基準日、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。上記の期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(表示方法の変更に関する注記)	8
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、情報電子事業、産業インフラ事業で大きく売上を伸ばし、ウェルネス事業、環境ソリューション事業でも増収を確保しました。その結果、当社グループの売上は前年同期比で増収となりました。

損益面では、人件費の増加、原材料価格やエネルギー・輸送コストの高騰、減価償却費の増加などの減益要因があったものの、情報電子事業や産業インフラ事業の増収効果に加え、生産効率の向上・価格転嫁などの収益向上施策を推進したことなどにより、前年同期比で増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高1,196億98百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益89億22百万円（前年同期比6.6%増）、経常利益99億95百万円（前年同期比16.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益65億13百万円（前年同期比22.9%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(ウェルネス事業)

医薬・医療用包装材、バイオ医薬品等製造用シングルユースバッグ（BioPhaS®（バイファス））ともに増収したことにより、事業全体で増収となりました。損益面では、増収効果があったものの、当社三重事業所新棟の減価償却費が増加したこと、ならびにバイオ医薬品等製造用シングルユースバッグ（BioPhaS®（バイファス））の拡販に向けた先行費用の投入を進めていることなどにより、事業全体で減益となりました。

この結果、売上高は211億84百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は1億79百万円（前年同期比69.8%減）となりました。

(環境ソリューション事業)

液体容器で海外子会社の売上が伸び悩んだことに加え、前年度の食品包装の一部事業売却による減収影響があったものの、つめかえ包装、OA機器関連包装で売上を伸ばしたことから、事業全体で増収となりました。損益面では、つめかえ包装、OA機器関連包装での増収効果があったものの、海外子会社の採算が悪化したことなどに伴い、事業全体で減益となりました。

この結果、売上高は250億90百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は10億81百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

(情報電子事業)

ディスプレイ関連については、台湾子会社の生産が伸び悩み、プロテクトフィルムは減収となりましたが、電子部材関連他では、AI分野向けを中心とする半導体市場の成長により層間絶縁フィルムが増収となり、事業全体で増収となりました。損益面では、台湾子会社の採算が悪化したものの、電子部材関連他での増収効果などにより、事業全体で増益となりました。

この結果、売上高は423億47百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は37億29百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

(産業インフラ事業)

建築資材関連においては、空調用配管及び集合住宅向けボイドスラブ（床構造部材）、ビル用煙突の売上が増加しました。化成品については、車載フィルム用途の粘着製品等の売上が好調であったことにより増収となりました。事業全体では増収増益となりました。

この結果、売上高は310億75百万円（前年同期比10.7%増）、営業利益は39億32百万円（前年同期比17.6%増）となりました。

	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		前年同期比	
	金額 (百万円)	売上高比率 (%)	金額 (百万円)	売上高比率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	113,387	100.0	119,698	100.0	6,310	5.6
ウェルネス	20,206	17.8	21,184	17.7	978	4.8
環境ソリューション	24,856	21.9	25,090	21.0	233	0.9
情報電子	40,257	35.5	42,347	35.3	2,089	5.2
産業インフラ	28,067	24.8	31,075	26.0	3,008	10.7
営業利益	8,369	7.4	8,922	7.5	552	6.6
ウェルネス	592	2.9	179	0.8	△413	△69.8
環境ソリューション	1,107	4.5	1,081	4.3	△26	△2.4
情報電子	3,323	8.3	3,729	8.8	405	12.2
産業インフラ	3,345	11.9	3,932	12.7	587	17.6

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、短期の有価証券が減少しましたが、売上債権や有形固定資産が増加したことなどにより、前年度末に対して29億58百万円増加の1,568億85百万円となりました。

負債は、未払金や賞与引当金が減少しましたが、短期借入金や仕入債務が増加したことなどにより、前年度末に対して15億28百万円増加の547億60百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が増加したことなどにより、前年度末に対して14億30百万円増加の1,021億25百万円となり、自己資本比率は59.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高については、環境ソリューション事業、情報電子事業、産業インフラ事業で前回想定を上回る見込みです。

利益面では、情報電子事業、産業インフラ事業での増収効果に加え、生産効率の向上・価格転嫁などの収益向上施策を推進したことなどにより、営業利益は前回想定を上回る見込みです。加えて、営業外収支において為替差益の計上、受取保険金の計上などがあったことにより、経常利益についても前回想定を上回る見込みです。

以上の状況を踏まえて、業績予想を見直いたしました。

2025年11月6日に公表した通期の連結業績予想との差異は以下のとおりです。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	157,000	10,200	10,800	6,500	89.22
今回修正予想 (B)	158,000	10,800	12,100	7,500	103.28
増減額 (B-A)	1,000	600	1,300	1,000	-
増減率 (%)	0.6%	5.9%	12.0%	15.4%	-
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	150,735	10,116	10,366	6,530	87.81

なお、今回の業績予想修正に伴う配当予想の修正はありません。

注) 上記に記載した予想数値は現時点で入手可能な情報に基づいて算出しており、実際の決算とは異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,986	16,916
受取手形、売掛金及び契約資産	35,723	38,415
電子記録債権	5,542	7,234
有価証券	7,495	—
商品及び製品	7,928	8,621
仕掛品	2,153	1,979
原材料及び貯蔵品	6,525	6,376
その他	6,500	5,191
貸倒引当金	△72	△46
流動資産合計	86,783	84,688
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	56,613	57,372
減価償却累計額	△29,568	△30,607
建物及び構築物(純額)	27,044	26,765
機械装置及び運搬具	69,654	74,308
減価償却累計額	△59,306	△61,590
機械装置及び運搬具(純額)	10,347	12,717
工具、器具及び備品	8,753	9,192
減価償却累計額	△7,618	△7,966
工具、器具及び備品(純額)	1,135	1,225
土地	9,138	9,686
建設仮勘定	12,355	14,489
その他	2,614	2,860
減価償却累計額	△1,176	△1,318
その他(純額)	1,437	1,542
有形固定資産合計	61,459	66,426
無形固定資産		
のれん	102	47
その他	767	736
無形固定資産合計	870	783
投資その他の資産		
投資有価証券	2,667	3,294
繰延税金資産	1,282	726
その他	875	977
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	4,814	4,986
固定資産合計	67,143	72,196
資産合計	153,926	156,885

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,481	23,006
電子記録債務	2,213	2,565
短期借入金	595	4,721
未払金	13,333	6,485
未払法人税等	994	1,301
契約負債	373	504
賞与引当金	1,801	994
役員賞与引当金	138	113
その他	2,634	3,919
流動負債合計	42,566	43,611
固定負債		
長期借入金	4,074	4,230
繰延税金負債	79	114
退職給付に係る負債	4,204	4,317
役員退職慰労引当金	611	627
その他	1,695	1,857
固定負債合計	10,665	11,148
負債合計	53,231	54,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,600	6,600
資本剰余金	6,559	6,746
利益剰余金	74,738	78,706
自己株式	△2,576	△4,706
株主資本合計	85,322	87,347
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	981	1,360
為替換算調整勘定	4,954	4,241
退職給付に係る調整累計額	392	347
その他の包括利益累計額合計	6,328	5,950
新株予約権	351	351
非支配株主持分	8,692	8,476
純資産合計	100,695	102,125
負債純資産合計	153,926	156,885

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	113,387	119,698
売上原価	86,953	91,724
売上総利益	26,434	27,973
販売費及び一般管理費	18,064	19,051
営業利益	8,369	8,922
営業外収益		
受取利息	215	172
受取配当金	62	66
受取保険金及び配当金	93	426
為替差益	154	262
補助金収入	3	153
リサイクル収入	86	76
その他	118	157
営業外収益合計	735	1,315
営業外費用		
支払利息	48	152
投資事業組合運用損	14	8
システム障害対応費用	203	—
生産停止に伴う損失	239	—
遊休資産維持管理費用	—	47
その他	12	33
営業外費用合計	518	241
経常利益	8,586	9,995
特別利益		
固定資産売却益	7	2
投資有価証券売却益	—	10
特別利益合計	7	12
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	43	56
事業譲渡損	57	—
投資有価証券評価損	364	8
その他	0	—
特別損失合計	466	65
税金等調整前四半期純利益	8,127	9,942
法人税、住民税及び事業税	1,622	2,251
法人税等調整額	465	408
法人税等合計	2,088	2,659
四半期純利益	6,039	7,283
非支配株主に帰属する四半期純利益	740	770
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,299	6,513

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	6,039	7,283
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72	394
為替換算調整勘定	362	△1,032
退職給付に係る調整額	110	△45
その他の包括利益合計	545	△683
四半期包括利益	6,584	6,600
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,730	6,135
非支配株主に係る四半期包括利益	853	465

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更に関する注記)

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において、「流動資産」の「受取手形」に含まれていた「電子記録債権」および「流動負債」の「支払手形及び買掛金」に含まれていた「電子記録債務」は、明瞭性を高める観点から区分掲記することとしました。これらの表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「受取手形」6,299百万円、「売掛金」32,978百万円、および「契約資産」1,987百万円として表示していた金額は、「受取手形、売掛金及び契約資産」35,723百万円、「電子記録債権」5,542百万円として組替えております。また「流動負債」の「支払手形及び買掛金」に表示していた22,695百万円は、「支払手形及び買掛金」20,481百万円、「電子記録債務」2,213百万円として組替えております。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更に関する注記)

2025年6月に設立された賽諾世精密材料(無錫)有限公司は、今後、アジア・中国市場の戦略上の拠点として重要性が高まることから、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	4,359百万円	4,959百万円
のれんの償却額	50	47

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ウェルネス	環境ソリューション	情報電子	産業 インフラ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	20,206	24,856	40,257	28,067	113,387	—	113,387
セグメント間の内部 売上高又は振替高	316	1,062	754	1,333	3,467	△3,467	—
計	20,523	25,919	41,011	29,401	116,855	△3,467	113,387
セグメント利益	592	1,107	3,323	3,345	8,369	—	8,369

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ウェルネス	環境ソリューション	情報電子	産業 インフラ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	21,184	25,090	42,347	31,075	119,698	—	119,698
セグメント間の内部 売上高又は振替高	288	1,096	1,048	1,247	3,680	△3,680	—
計	21,473	26,187	43,395	32,322	123,378	△3,680	119,698
セグメント利益	179	1,081	3,729	3,932	8,922	—	8,922

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。